

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第127号	氏名	米元 治朗
学位審査委員	主査 中島 憲一郎 副査 中村 純三 副査 黒田 直敬		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究はP-糖タンパクの阻害剤と抗がん剤の併用療法に関する基礎的検討を目的として、パクリタキセルとベラパミルとの薬物動態学的相互作用を検討するもので、その目的は妥当である。</p>			
<p>2 研究手法 パクリタキセルのHPLC-UV法を開発し、それをヒト及びラットの血液試料に適用した。また、パクリタキセルとベラパミルの同時投与による薬物相互作用を薬物動態学的に検討した。更に、4種の抗がん剤とベラパミルの同時定量法も開発した。これらの研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で開発した分析法は数ng/mLのパクリタキセルが検出可能な高感度な方法であり、ヒト及びラット血液の定量に十分適用可能であった。また、ラットを用いるパクリタキセルとベラパミルの薬物相互作用を検討した結果、ベラパミルがパクリタキセルの組織内から血液側への排出を阻害し、血中濃度の低下、排出の遅延が生じることを示した。さらに4種の抗がん剤とベラパミルの同時定量を可能にしたことで、これらの相互作用を検討できることを示唆した。</p>			
<p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			